



3学期が始まりました

令和2年1月8日、3学期がスタートしました。登校日数47日の短い学期ではありますが、一年間の学習や生活の総まとめの大切な学期です。寒さに負けない元気な子どもたちであってほしいと願っています。保護者の皆様のご理解・ご協力よろしくお願ひします。

始業式における校長先生のお話

みなさん あけましておめでとうございます。

2020年が、そして、3学期が始まりました。3学期の登校日は47日です。

今日は、最初にスライドに注目してください。(2学期、各学年の児童のようすを紹介)皆さんに紹介したスライドの中で、特に、5年生の花壇づくりに関わって話をします。

秋に、この花壇の花がいっせいに咲くことができたのには、5年生の取組があったからです。また、「花いちもんめ」などの地域の方々やPTAの方々の協力があったからなんだということを、これらの写真から、つくづく気づかせられました。

さて、みなさん。この仁礼小学校の花壇の中央に咲く赤い色をした花の名前を知っていますか?「カンナ」の花です。では、この白黒の写真を見てください。これは、どこで撮影された写真かという「広島県」です。いつの写真かという「1945年9月」ととられたものです。1945年広島という、日本にとって忘れることのできない何かがあった年。そうです。8月6日、広島に原子爆弾が落とされたのです。多くの方々の命がうばわれました。その1ヶ月後、焼けあとに咲いた一輪の「カンナ」なんです。原子爆弾に負けずに咲く一輪の「カンナ」の生命力に勇気をもらった方々がいたそうです。その一人、創作浄瑠璃作家の橘凜保(たちばなりほ)さんは、この出来事を作品にして広島市内の小学校で演じました。しかし、カンナの花を知らない児童が多く、それなら「育ててもらおう」ということで、学校で「カンナ」の花を育ててもらおう活動を考えました。橘さんは、まずは、球根を集めることから始めます。そこで、無数のカンナが毎年咲く「カンナ街道」がある長野県須坂市仁礼町の園芸店に「球根を100個買いたい」と申し出ました。事情を知った店主は、1000個の球根を無償でくれたそうです。

そして、今では、広島県を始め、長崎県、鹿児島県など多くの都府県の学校で「カンナ」の花を育てる取組が広まっているそうです。



「カンナ」の花言葉のひとつは、「確かな未来」だそうです。私たちは、「カンナ」の花を見るたびに、広島・長崎に原爆が落とされたことを、そして、平和について学び考えることを忘れないようにしたいと思うのです。

最後に、今年度の仁礼小学校の花壇づくりに、須坂市より奨励賞をいただきました。中心になって活動をした5年生の皆さん、ありがとうございました。

2020年、6年生から5年生へ、児童会活動も引き継がれていきます。よろしくお願いします。

さあ、2020年が、スタートします。カンナの花ことばのように、皆さんにとって、確かな(永遠)未来がおとずれることを願い、具体的な一歩を考えてください。そして『たくましく、よしやってみよう、ありがとうの気持ち』で、3学期の学習や活動を始めていきましょう。

広島県

1945年9月

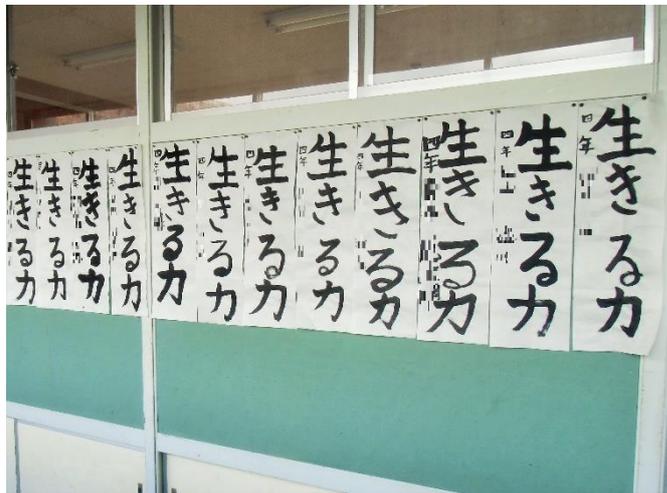
カンナの花

1945年8月6日原子爆弾が落とされた

仁礼っこのようす



始業式で2,5,6年生の代表児童が3学期のめあてを発表しました。学習や生活、児童会活動をしっかりまもっていききたいという意気込みが感じられました。



冬休み中に書いた書き初めがそれぞれの学年の廊下に展示されていました。一筆一筆気持ちを込めて取り組んだ様子が目に浮かびます。

連絡やお願い

- インフルエンザにかかった児童はまだ数名ですが、今今増えてくる心配があります。引き続き、学校でも予防に努めていきますが、ご家庭におかれましては、急な発熱などインフルエンザの症状がありましたら、早めに受診をお願い致します。あわせて学校への電話連絡をお願い致します。
- 今後のスクールカウンセリングの予定。1月28日(火) 14:00~17:00は沼田真理先生、2月12日(水)8:45~12:45は高橋優子先生が来校します。ご相談をされたい場合は担任を通じて学校までご連絡をお願いします。



15日、17日に、5年生は仁礼コミュニティセンターの方や地域の方とおやきを作りました。生地をこねたりあんを包んだりすることを教わりながら交流することができました。